

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービス らんらん泉中央

対象人数（保護者）29人 回答者数 25人 回収 86.2%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	4		
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1		3
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2		4
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25			
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1		1
	⑥	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			1
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	24	1		
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1		1
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1		1
	⑩	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1		1
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	6	12
保護者 への 説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25			
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25			
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	3	1	3
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	2		
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	1	1
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1		1
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	23	2		
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		3
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2		1
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23	1		1
㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			1	
非常時 等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19		1	5
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22			3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
満足度	㉔	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24			1
	㉕	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		4
	㉖	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	1		
	㉗	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22		1	2
	㉘	事業所の支援に満足していますか。	23	2		

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7 年 3 月 13 日

事業所名 らんらん泉中央

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・改善点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			7	敷地内はバリアフリーでは無いため、車いすや歩行に課題のある方は配慮が必要。利用の際は、複数職員で安全を確保していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			7	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			外部コンサルによる研修を実施
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			日々変化する児童の状況に合わせたプログラムを考案している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			保護者様からの要望に応じて、個別療育と集団療育を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	5			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・改善点
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	/	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		就学前児童のケア会議に参加し、情報共有を行っている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	/	/	/	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			7	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			7	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			7	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			7		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	35 個人情報に十分注意している	7			
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			7	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点・改善点
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	らんらん泉中央		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		~ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		~ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の障害特性に合わせたバリエーション豊かなプログラムの提供。	○5領域に沿ったプログラムを考案。 ○保護者の方にお子さんに取り組みさせて欲しい活動を聞き、可能な範囲でプログラムに取り入れる。	○研修を充実させることで障害特性の理解をより深めていく。 ○外部講師による専門的な視点からの指導を仰いでいく。
2	専門職(PT・保育士・児童指導員)を配置していることでそれぞれのお子さんの需要にあった専門的療育を提供。	○月に1~6回(お子さんの利用日数に応じて)の専門職による個別療育を実施予定。お子さんの苦手なところを集中的にトレーニングに取り入れていく。	○実施した内容は、専門職だけで把握するのではなく他職種のスタッフとも書面を通してしっかり共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりが少なく、自施設のみでの活動となっている。	地域イベントや施設との交流機会が少なく、自然な関わりが生まれていない。	地域のお祭り、清掃活動、図書館利用などに参加し、地域との接点を増やす。